

令和3年度 学校関係者評価結果

1. 学校関係者評価委員会の開催

令和4年3月に資料確認にて評価を受けた。

2. 学校関係者評価委員

- 1) 教育に関する有識者：大学教授
- 2) 高等学校関係者：県内高等学校長
- 3) 実習施設責任者：市のセンター長
- 4) 看護管理者：実習施設看護部長
- 5) 卒業生：大学病院看護師

3. 評価資料

- 1) 学校関係者評価表
- 2) 学校運営目標による自己評価
- 3) 卒業生によるカリキュラム評価
- 4) 全学年授業評価結果
- 5) 教員の看護研究の取り組み状況及び講師派遣一覧
- 6) 学生の入学・卒業等の状況
- 7) 学生募集の状況
- 8) シラバス
- 9) 学生便覧

4. 他者評価結果

【評価基準】 4:当てはまる 3:ほぼ当てはまる 2:やや当てはまる 1:当てはまらない

評価項目	下位項目	評価内容	
教育理念 教育目的	自養成所の教育上の特徴の明示	4.0	母体病院の特徴、学校案内等において、教育上の特徴を示す教育理念・教育目的が明確に設定されている。
	学習の指針の明示	4.0	教育理念・教育目的がシラバスに反映されており、学生が活用しやすいように工夫されている。また、カリキュラム及び分野の考え方や授業科目のねらい、教育課程等の学習の指針になるよう具体的に示されている。
	卒業時点の資質の明示	4.0	アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーが明示されており、卒業認定の資質も明確である。
学校管理	組織体制	4.0	学生便覧に組織体制（権限・役割機能）、役割が明確に示されている。
	火災・自然災害の体制	4.0	防災規定と役割分担が明確に定められている。
	関係者（保護者等）への情報提供	4.0	コロナ禍で参集が困難であったが、教育・学習活動に関する情報をWEBサイト等を活用して保護者・地域社会に発信できている。保護者へ向けて卒業式のライブ配信は良い。
教育活動	教育内容	4.0	教育目標と教育内容の関連化が図られている。定期的な評価や修正も実施されている。
	単位履修の方法	4.0	単位履修の方法は履修規程に明示されている。また、理解を深める工夫もされている。
	教員の自己研鑽のシステム	3.6	組織内外での多様な研修機会に多くの教員が参加し、職能開発に努めている。システムは整備されているが、活用において課題が残る。
学生支援	安全・個人情報保護の体制	3.4	学生便覧に安全確保について方針と方法が記載されている。個人情報保護規定の整備が課題といえる。
	学習継続の体制	3.8	授業評価集計結果では、学生の授業に対する満足度の高さ（特に専門分）が示されている。コロナ禍で課外活動への満足度がやや低下しているが、次年度はこの点の改善に期待したい。学習継続の体制が整えられ、奨学金制度等の対応もなされている。学生が学習を継続するために個別指導

			や個別面接以外に普段から学校職員、教員との連携がとり易く、相談しやすい体制作りをする必要がある。
教育環境	学校の設備	3.6	電子テキストを挿入する等、デジタル社会に対応できる看護師育成に努めている。図書室や情報科学室が整備され、オンライン講義など実施する等ネット環境も充実している。ICTの整備により、コロナ禍においても研修ができる体制整備ができています。
	臨地実習施設支援体制	3.8	地域内における複数の実習施設とし連携・協働体制が構築できている。実習調整の専任を配置している点、高く評価できる。教育や実習に対する方針を明示し、実習施設との連携を取り、学生の学習を支援している。
学生募集	学生確保への取り組み	3.2	閉校決定の影響はあるものの募集案内配布や学校説明会を16回（オンライン1回含む）開催するなど、学生確保に積極的に取り組んでいる。
社会貢献	地域社会への貢献	3.2	国家試験合格率100%、就職率100%、地域の看護人材育成所としての使命を果たしている。コロナ禍ではあるが、次年度は地域へ貢献する機会を増やしてほしい。
	学生のボランティア活動の支援	3.4	コロナ禍であり、制限付ではあるが、ボランティア活動の支援が実施されている。次年度のボランティア活動のさらなる活性化と支援体制構築に期待したい。